

障がい児（者）への歯科口腔保健等の取り組み状況等について

1 研修会の開催

(1) 歯科医療従事者を対象とした研修会

障がい児等の地域での自立した生活を支援する歯科診療環境づくりに向け、歯科医療従事者等を対象とした研修会を実施。

【目的】発達障がいに対する理解の促進を図る。

【日時】平成26年3月6日（木）19：30～21：00

【場所】熊本県歯科医師会3階会議室

【内容】講演「一般歯科で行う障がい者の診療」

講師 くすのき子供歯科院長 逢坂 亘彦 先生

【参加者】歯科医師、歯科衛生士等 77人

【アンケート結果】 アンケート回収率 59.7%

《研修会の感想から》

- ・ 障がい者治療に対して疑問であった事や不安な部分の整理ができ勉強になった。
- ・ 歯科診療、予防について子どもと保護者に自分が注意すべき点が見つかった。
- ・ 何かあったときの受け入れ先の確保が必要と思った。

(2) 障がい児（者）、保護者及び支援者等を対象の研修会

【目的】むし歯や歯周疾患予防についての情報提供を行うために開催。

【日時】平成25年12月16日（月）10時～12時

【場所】熊本市障害者福祉センター希望荘

【内容】講演「障がいのある方の歯の健康について」

講師 熊本市歯科医師会副会長 渡辺 猛士 先生

【参加者】障がい児（者）施設職員・手をつなぐ育成会・病院関係者等 25人

【アンケート結果】 アンケート回収率 92.0%

《研修会の感想から》

- ・ 障がいのある方が通いやすい歯医者が近所に増えることを願っている。
- ・ 障がい者施設にも是非、出前講座をして欲しい。
- ・ できるなら、本人を参加させて歯磨きのやり方など実際に教えていただきたい。

2 市歯科医師会による障がい児（者） 歯科診療実施施設へのアンケート調査

【目的】障がいの種類や特性に応じて歯科医療が受けられる歯科医療施設の実態把握等のためにアンケートを実施

【実施日】平成26年2月10日

【回収率】 9.7% （3月17日現在）

【内容】《速報》

- 障がい児（者）等の診療について
実施している 25件（75.8%） ・ 実施していない 8件（24.2%）
- どのようなことがあれば障がい児（者）への歯科診療に取り組みやすくなるか
 - ・ 保護者の希望（ゴール）が明確になっていること。
 - ・ 障がい児（者）の各疾患の症状や注意点等をまとめたガイドライン、どうしても対応できない時の、2次医療機関との連携マニュアル等の作成。
 - ・ 障がい施設や小児科等の担当医との連携。
- これまで障がい児（者）の歯科診療で、分からなかった事や困りごとはないか
 - ・ 行政における障がいの分類と、それに合わせた医学的情報が欲しい。
 - ・ 外来対応困難と判断した場合の受け入れ先を教えて欲しい。
 - ・ リスクを避けてできる治療の選択肢を具体的に教えて欲しい。
- 問題を解決するにはどのようなことがあれば、障がい児（者）等への歯科診療に取り組みやすくなるか
 - ・ 障がい児（者）やその家族、施設職員等との情報交換 20件（60.6%）
 - ・ 障がい児（者）を診療する医師等を講師とした研修会の受講19件（57.6%）
 - ・ 障がい児（者）施設等を行政から聞く 8件（24.2%）

3 平成26年度の主な取り組み（予定）

(1) 啓発

- 障がい児（者）、保護者及び支援者等を対象とした研修会
- 歯科医療従事者等を対象とした研修会 （平成27年2月頃）

(2) 区役所窓口等における情報提供（新）

- ホームページ掲載
- 市歯科医師会との協働による医療機関アンケート調査とリスト作成

(3) 歯科健康教育・相談等

- 歯っぴー事業
 - ・ 障がい児及び発達に不安のある未就学児や子ども発達支援センターが発行する「歯の健康手帳」を保持する未就学児を対象としたフッ化物塗布及び相談等
- 障がい児利用施設への出前歯科健康教育・相談
 - ・ 児童発達支援サービスを利用中の児の歯科相談等
- 障がい児施設での口腔ケア研修会
 - ・ 施設利用の障がい児（者）や施設職員等への健康教育等